

第2回 神代川かわまちづくり推進協議会

第1回 WS 資料

資料1 : ワークショップの進め方について . . . P 1

資料2 : 神代川かわまちづくりについて . . . P 2

資料3 : グループ作業資料

・ 全体図 . . . P 3

・ 天真名井周辺・神々のゾーン . . . P 4

・ 天真名井周辺整備 . . . P 7

・ 皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン . . . P 10

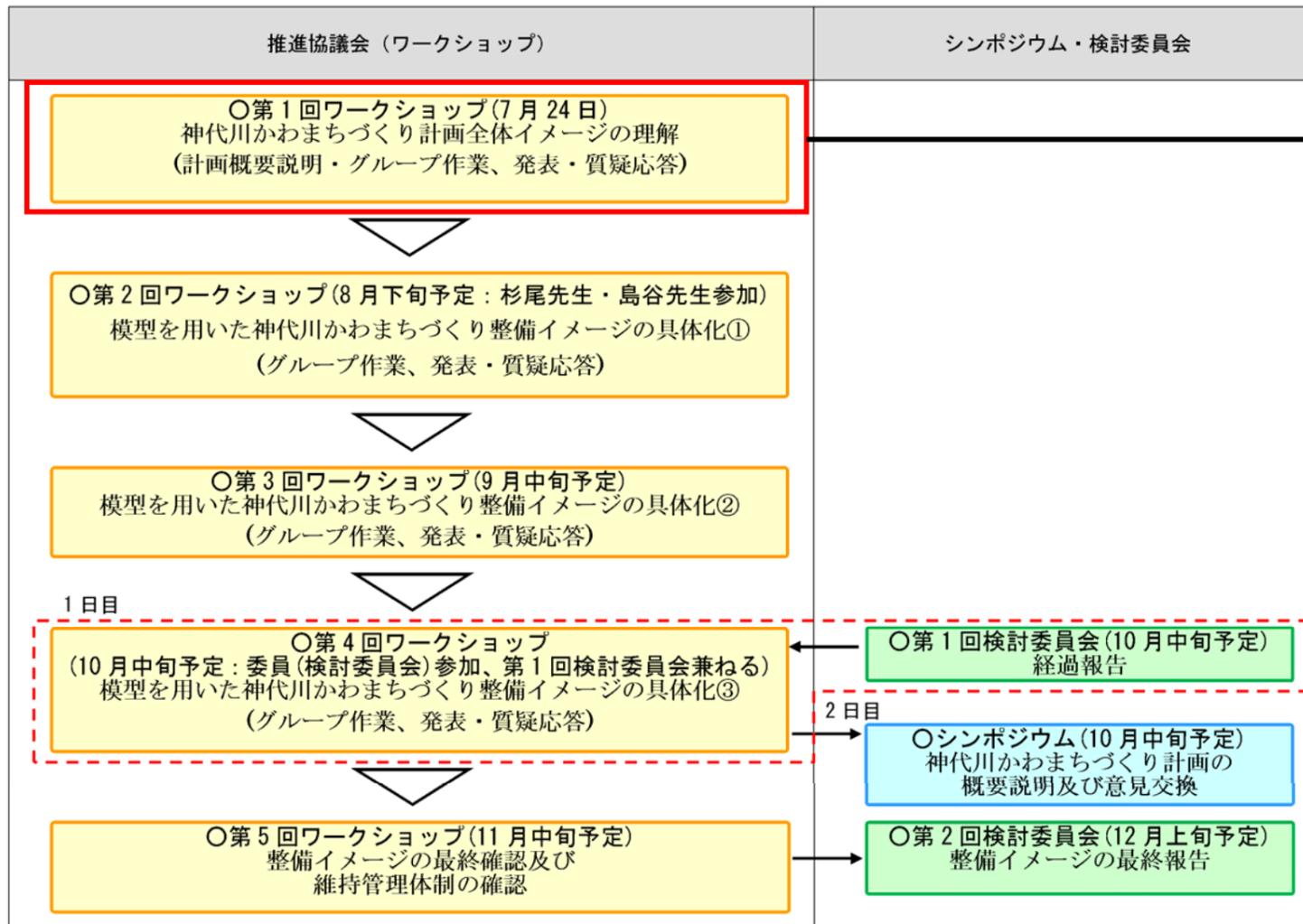
・ 皇子橋周辺整備 . . . P 13

資料4 : その他 . . . P 16

平成26年7月24日(木)

■ワークショップの進め方について

ワークショップ全体の流れ



第1回ワークショップの流れ

次第	内容	所要時間
1. ワークショップの進め方	①ワークショップ全体の流れについて ②第1回ワークショップの内容について	19:00～19:10 (10分)
2. 神代川かわまちづくり計画について	①神代川かわまちづくり計画の目的 ②神代川かわまちづくり計画 (対象区域、整備方針等) ③グループ作業内容の説明 ⇒グループ作業の着眼点等を説明する。	19:10～19:20 (10分)
3. グループ作業	【グループ作業】 ⇒4班程度に分かれて、各班毎に議論 2班：共通「神代川かわまちづくり計画」 各班「天真名井周辺・神々のゾーン」 or 「皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」 2班：共通「神代川かわまちづくり計画」 各班「天真名井周辺整備」 or 「皇子橋周辺整備」	19:20～20:10 (50分) ①メンバー確認：5分 ②代表者決定：5分 ③グループ作業：30分 ④とりまとめ：10分
4. 発表・質疑応答	【グループ発表】 ⇒各班の代表者が発表し、それに対して質疑応答を行う。	20:10～20:50 (40分) 1班あたり 発表 5分 質疑応答 5分
5. まとめ・次回ワークショップについて	①全体整備イメージについて。 ②協議会の名称について ③第2回ワークショップについて	20:50～21:00 (10分)

■神代川かわまちづくり

日本発祥の地「神都 高千穂」

神代川かわまちづくり計画書

川と日本人の心の再生を目指して

宮崎県高千穂町
宮崎県西臼杵支庁

平成二十六年一月

序文

宮崎県高千穂町は、高天原神話と天孫降臨神話の舞台として、日本文化の根源に位置している。なかでも町の中心を流れる神代川がくしふるの峰の麓にさしかかるところに位置する天眞名井は、水のなかつた国土にニニギノミコトが天から「水の種」をもたらしたことで湧いた泉であるとの伝承が残る。

「神代川かわまちづくり」は、河川改修で変貌してしまった古代からの環境と景観の再生を「水循環の復活」をキーワードに、神々の神話で彩られた高千穂町のまちづくりと一体になって進めようという事業である。

「神代川（じんたいがわ）」は、「神代（くましよ）」の名も示すように、日本発祥の地として、事業地の周辺に「天眞名井」、「くしふる峯」「四皇子塚」など、『古事記』『日本書紀』に登場する多くの地を含む。この地域は、いわば日本の原風景であるが、昭和40年代の河川改修を機に、古代を彷彿とさせる環境・景観は失われ、また天眞名井から湧いていた水も減少してしまい、人々の生活と神代川との緊密な関係は希薄になってしまった。天眞名井の水は、現在は上流から補水されているという状況である。しかし、現在でも天眞名井周辺は、くしふる神社や高千穂神社の神事などの重要な舞台となり、また、地域の人びとは河川の清掃などの活動を継続している。

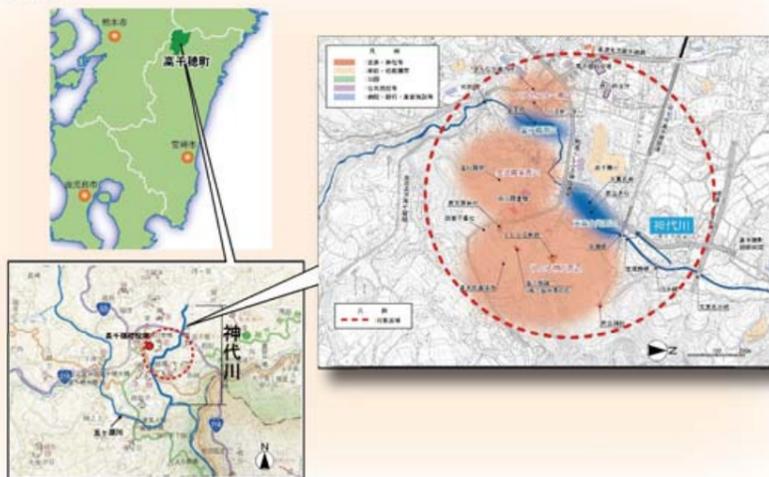
記紀編さん1300年ということで、日本文化の根源に対する国民の関心は大きく高まっている。高千穂町は、「日本発祥の地『神都』」として、観光を含めた地域活性化事業に取り組んでおり、本事業では、宮崎県と高千穂町との緊密な連携のもと、地域の人びとが高千穂地域の環境と景観の再生を機に、川とともに生きることの喜びを取り戻し、またこの地域を訪れる人びとに日本文化の原風景の体験を共有できるように、川とまちを一体としたさまざまな取り組みを行う。天眞名井に覆いかぶさるようにそびえるケヤキの樹齢は1300年といわれるが、本事業は、『古事記』編さん1300年に当たる2012年から『日本書紀』編さん1300年に当たる2020年に当たって行われる歴史的な事業でもある。

本事業の基本理念は、つぎの3点とし、「天眞名井周辺・神々のゾーン」「皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」「神話・歴史・文化の周遊ゾーン」の整備と実現される。

1. 高千穂地域のもつ神話・歴史という文化的資源を生かしたかわまちづくり
2. 水循環の復活を実現するかわまちづくり
3. 地域の人びとの生活・文化と直結し、地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり

現在の日本は、20年に及ぶ経済不況からの脱却と東日本大震災をはじめとする多くの自然災害から立ち上がろうとしている。その取り組みは、生きとし生けるものを優しく包み込む国土のもとに、安寧に満ちた人々の暮らしと活力に満ちた社会の再構築を目指す、日本再生の国づくりである。「神代川かわまちづくり」は、「日本の歴史・文化的環境・景観の再生を目指すかわまちづくりのさきがけ」であり、21世紀の新しい「水の種」を国土に植える象徴的な事業である。

■対象区域図



●神代川かわまちづくりの基本理念と考え方●

■基本理念
高千穂町の歴史、特性、総合計画や観光マスタープランに関する地域づくり・観光振興に関する方向性、神代川周辺の環境特性を踏まえ、神代川かわまちづくりの3つの基本理念を設定する。



基本理念は、かわまちづくりに参画する全ての人々の共通理念とし、関係者それぞれが相互に協力しながら、整備を具体化・実現化させるものである。

■3つの基本理念の考え方
基本理念1：高千穂地域の神話・歴史という文化資源を生かしたかわまちづくり
神代川周辺には日本発祥の地を印象づける、歴史・文化資源や多数の神話が存在し、その背景に驚かされる。これら数多くの文化資源を生かし、高千穂に住まう人々、訪れる人々に、神話の聖地である高千穂町の「歴史的背景」や「驚かさ」を見せ、感じさせる、伝承としてのかわまちづくりの展開が求められる。

神代川及び周辺における歴史・文化資源や神話を個性の集積として、神話の聖地としての風情を醸し出す聖地としてのイメージの確立を図る。

基本理念2：水循環の復活を実現するかわまちづくり
高千穂町で古くから営まれてきた人々の暮らしは、相互の絆、五ヶ瀬川水系の深谷や深々とした緑の山並み、清涼な水資源など往復により形成される。

ここではかわまちづくりの骨格を形成する、「高千穂の文化」「神代川の文化」「水循環の復活」といった本来の姿を整えるため、八百万の神の如く、多くの知識と経験によるかわまちづくりを展開することが求められる。

ハード面や維持管理の組織づくりを中心とした基盤的部分の整備を行い、住民や訪れる人々が利用し育てる「かわまちづくり」の骨格を形成する。

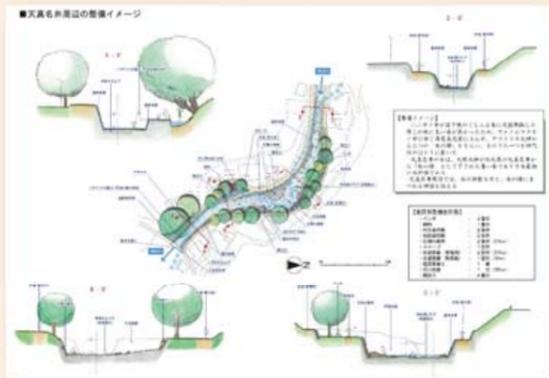
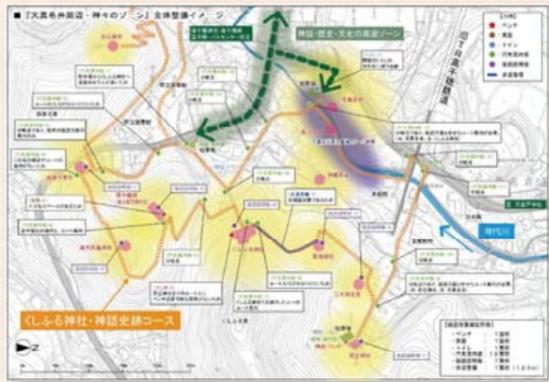
基本理念3：地域の人びとの生活・文化と直結し、地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり
かわまちづくりは、目に見える形をつくるだけでなく、その形を継続的に維持管理し、利活用を行うことで達成されるものである。

神代川のかまちづくりに関しては、行政だけでなく、住民や訪れる人々を交えより一層、神代川との関わり合いを深め、思いの重要性を認識し、「自発的・自立的」なかまちづくり活動となることを求められる。

かわまちづくりへの関心を高めるための環境整備や情報の提供、神代川の管理主体である宮崎県や高千穂町の連携を深める環境づくりをより一層推進し、住民や訪れる人々を中心とした「かわまちづくり」を行う。

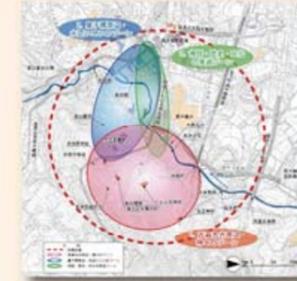
●ゾーン別の整備イメージ●

■「1. 天眞名井周辺・神々のゾーン」及び「3. 神話・歴史・文化の周遊ゾーン」
当ゾーンでは、天眞名井周辺の自然を再生させ、くしふる神社や独立神社、西皇子ヶ崎といった歴史資源と結びつけることで、自然と歴史資源が一体化したかわまちづくり計画を行う。



●神代川かわまちづくりの対象区域とゾーン区分●

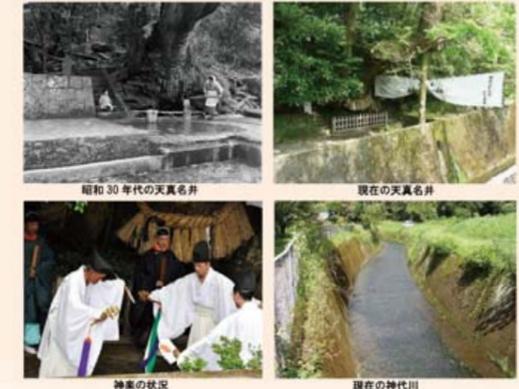
■ゾーン区分
神代川かわまちづくりでは、対象区域において次の3つのゾーンに区分し、それぞれのゾーン毎にかまちづくりの基本理念及び整備方針に即した環境づくり（ハード）、仕込みづくり（ソフト）の展開を図るものとする。



1. 天眞名井周辺・神々のゾーン
【天眞名井と一体化した風情ある空間と、くしふる神社を中心とした散策ルート】
2. 皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン
【まちとの連携を促す地元住民や観光客の憩いの場と、四皇子の記を紹介する水辺空間】
3. 神話・歴史・文化の周遊ゾーン
【高千穂の太古の歴史・文化と現代の賑わいを結び、時空を超える古街道として情景・風情を演出】

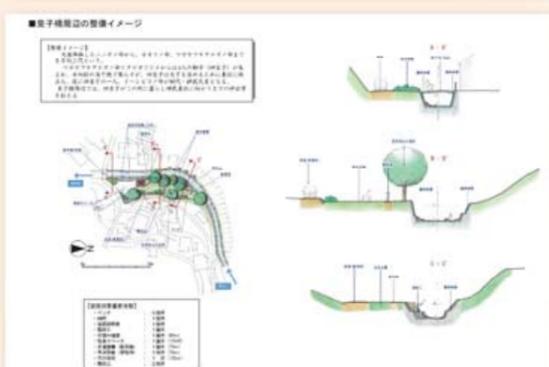
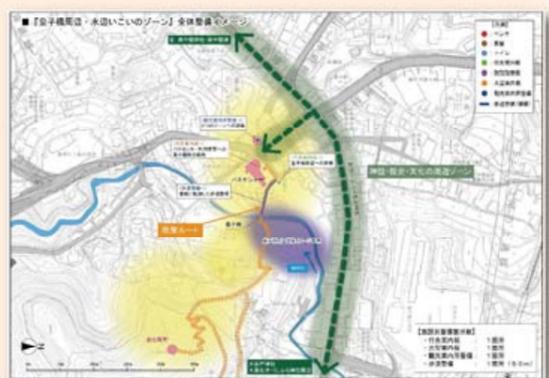
～天眞名井の様子の変化～

かつては豊富な水量が湧き出し、生活用水や醸造用の水として利用されていたが、河川改修が行われた昭和40年代以降、湧水が減少したとされており、現在では上流側に位置する白水神の湧水から補給している状況にある。しかし、現在においても高千穂神社とくしふる神社の祭典（年2回）の際に御神輿の御旅所として御具懸の賑わいと御神楽が行われる等、地域住民は天眞名井と神代川と積極的な関わりを持ち、強い関心を示している。

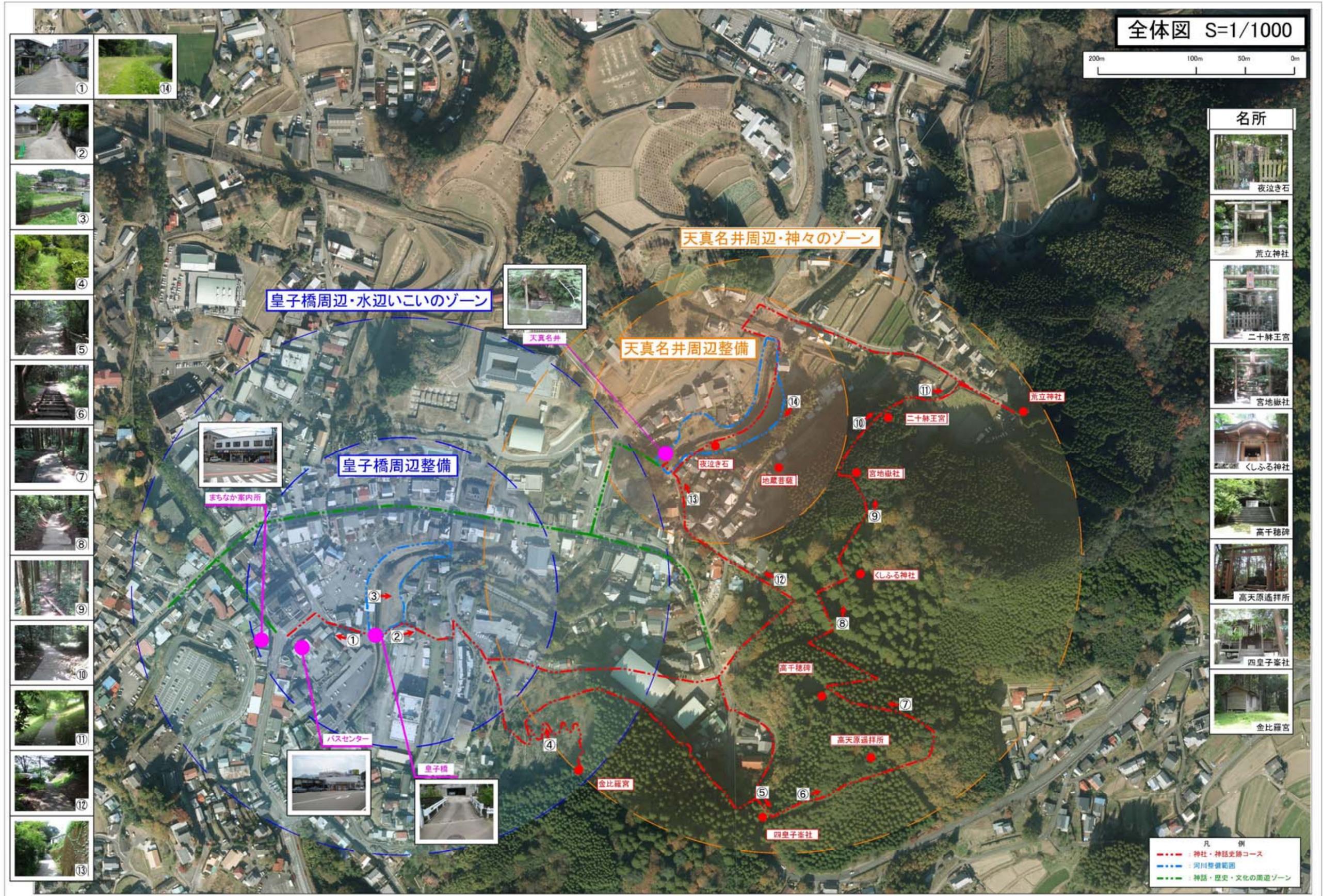


■「2. 皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」及び「3. 神話・歴史・文化の周遊ゾーン」

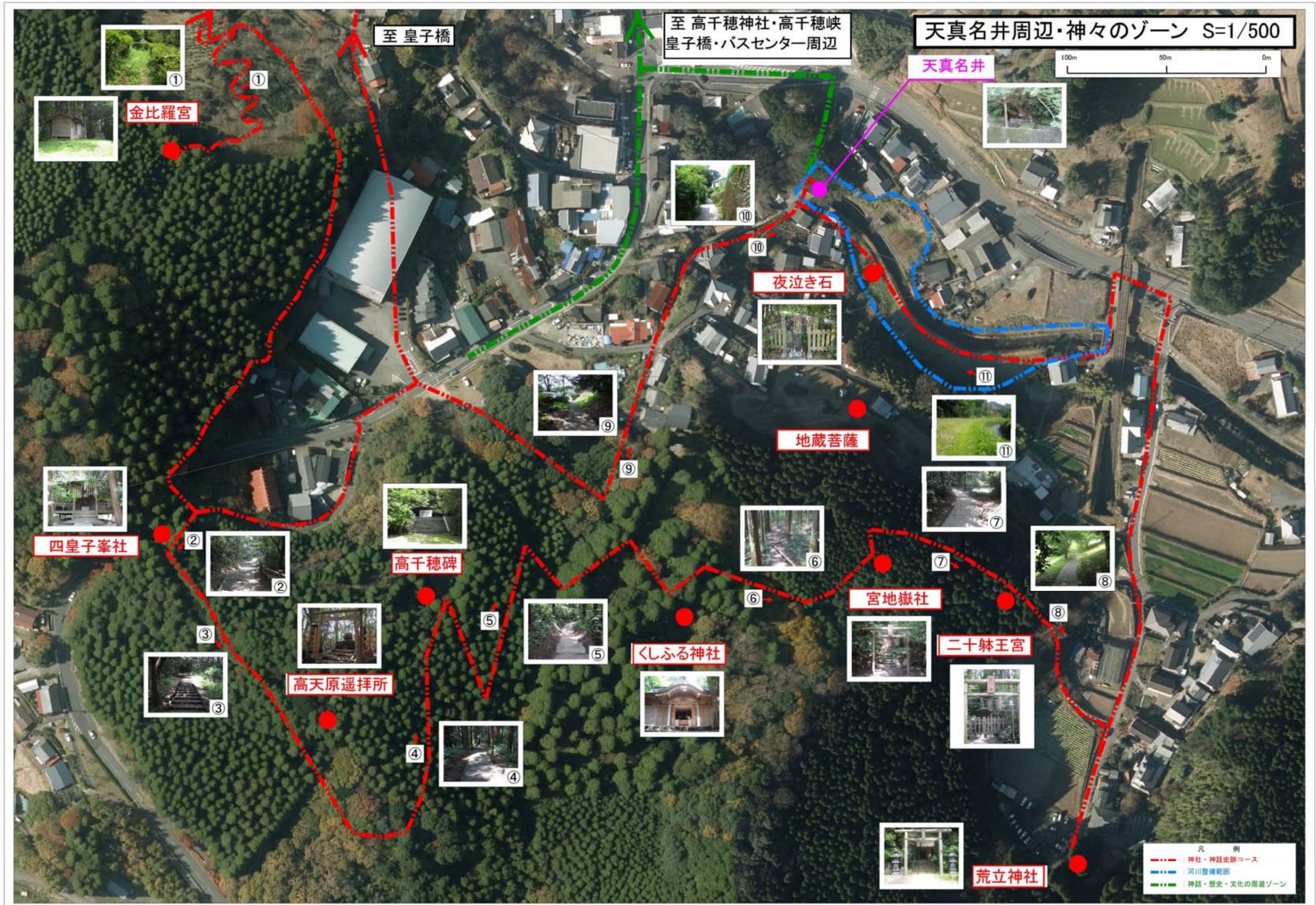
当ゾーンでは、皇子橋周辺の観光空間として整備と、高千穂町の交通拠点であるバスセンターや観光案内所の整備を実施し、地元住民だけでなくバスセンターや観光案内所を訪れる観光客が自然と触れあえるかわまちづくりを行う。また、ゾーン間や町内に点在する他の観光資源との連携を可能とするかわまちづくりを行う。



■グループ作業資料

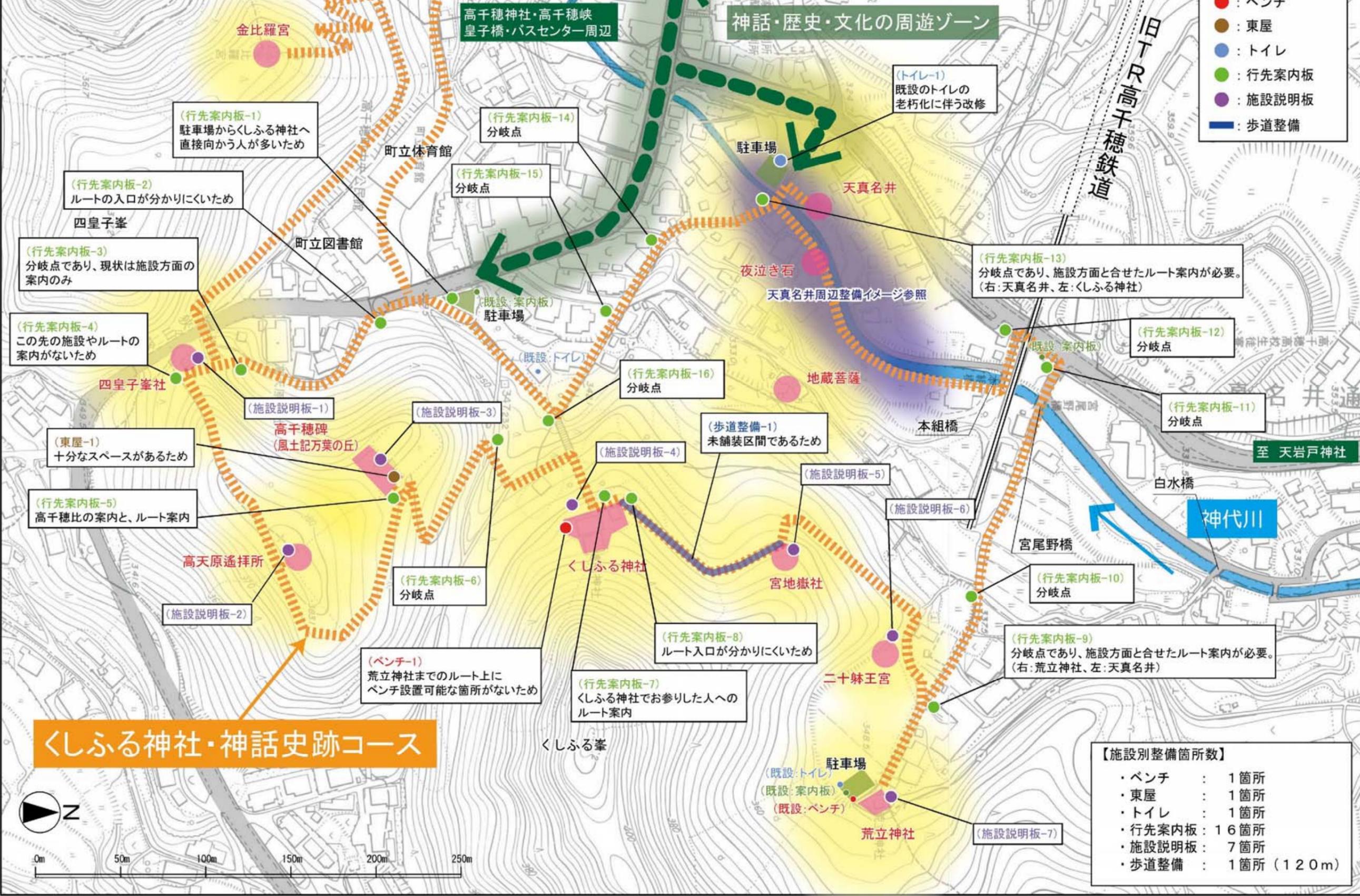


■天真名井周辺・神々のゾーン



『天真名井周辺・神々のゾーン』全体整備イメージ

- 【凡例】
- : ベンチ
 - : 東屋
 - : トイレ
 - : 行先案内板
 - : 施設説明板
 - : 歩道整備



(行先案内板-1)
駐車場からくしふる神社へ
直接向かう人が多いため

(行先案内板-2)
ルートが入り口が分かりにくい
ため

(行先案内板-3)
分岐点であり、現状は施設方面の
案内のみ

(行先案内板-4)
この先の施設やルート案内
がないため

(東屋-1)
十分なスペースがあるため

(行先案内板-5)
高千穂比の案内と、ルート案内

(施設説明板-2)
高天原遙拝所

(ベンチ-1)
荒立神社までのルート上に
ベンチ設置可能な箇所がないため

(行先案内板-14)
分岐点

(行先案内板-15)
分岐点

(施設案内板)
既設

(行先案内板-16)
分岐点

(施設説明板-3)
高千穂碑
(風土記万葉の丘)

(行先案内板-6)
分岐点

(行先案内板-7)
くしふる神社でお参りした人への
ルート案内

(トイレ-1)
既設のトイレの
老朽化に伴う改修

(行先案内板-13)
分岐点であり、施設方面と合せたルート案内が必要。
(右:天真名井、左:くしふる神社)

(行先案内板-12)
分岐点

(施設説明板-4)
くしふる神社

(行先案内板-8)
ルート入り口が分かりにくい
ため

(施設説明板-5)
宮地嶽社

(行先案内板-11)
分岐点

(施設説明板-6)
二十躰王宮

(行先案内板-10)
分岐点

(施設説明板-7)
荒立神社

(行先案内板-9)
分岐点であり、施設方面と合せたルート案内が必要。
(右:荒立神社、左:天真名井)

(施設説明板-7)

くしふる神社・神話史跡コース

【施設別整備箇所数】

・ベンチ	: 1箇所
・東屋	: 1箇所
・トイレ	: 1箇所
・行先案内板	: 16箇所
・施設説明板	: 7箇所
・歩道整備	: 1箇所 (120m)

3.4 具体的な整備内容

「1. 天真名井周辺・神々のゾーン」及び「3. 神話・歴史・文化の周遊ゾーン」

当ゾーンでは、天真名井周辺の自然を再生させ、くしふる神社や荒立神社、四皇子ヶ峰といった歴史資源と結びつけることで、自然と歴史資源が一体化したかわまちづくり計画を行う。

・整備方針と具体的な内容

基本理念 1：高千穂地域のもつ神話・歴史という文化資源を生かしたかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①固有の歴史背景を物語として伝えるしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●夜泣き石の河川内への復元 ●くしふる神社周辺の歴史資源を含めた案内板の設置 ●高天原遥拝所からの眺望確保（立木の伐採）
②全ての人々が利用しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿い敷地を取り込んだ休息機能の設置 ●子供や女性、高齢者でも歩きやすい舗装の導入 ●散策路や休憩施設の整備（手すり等の設置、歩きやすい舗装への再整備） ●誰にでも理解できる案内板の設置（小学生にでも理解できる内容、音声ガイド、多言語化、デザインの統一化）

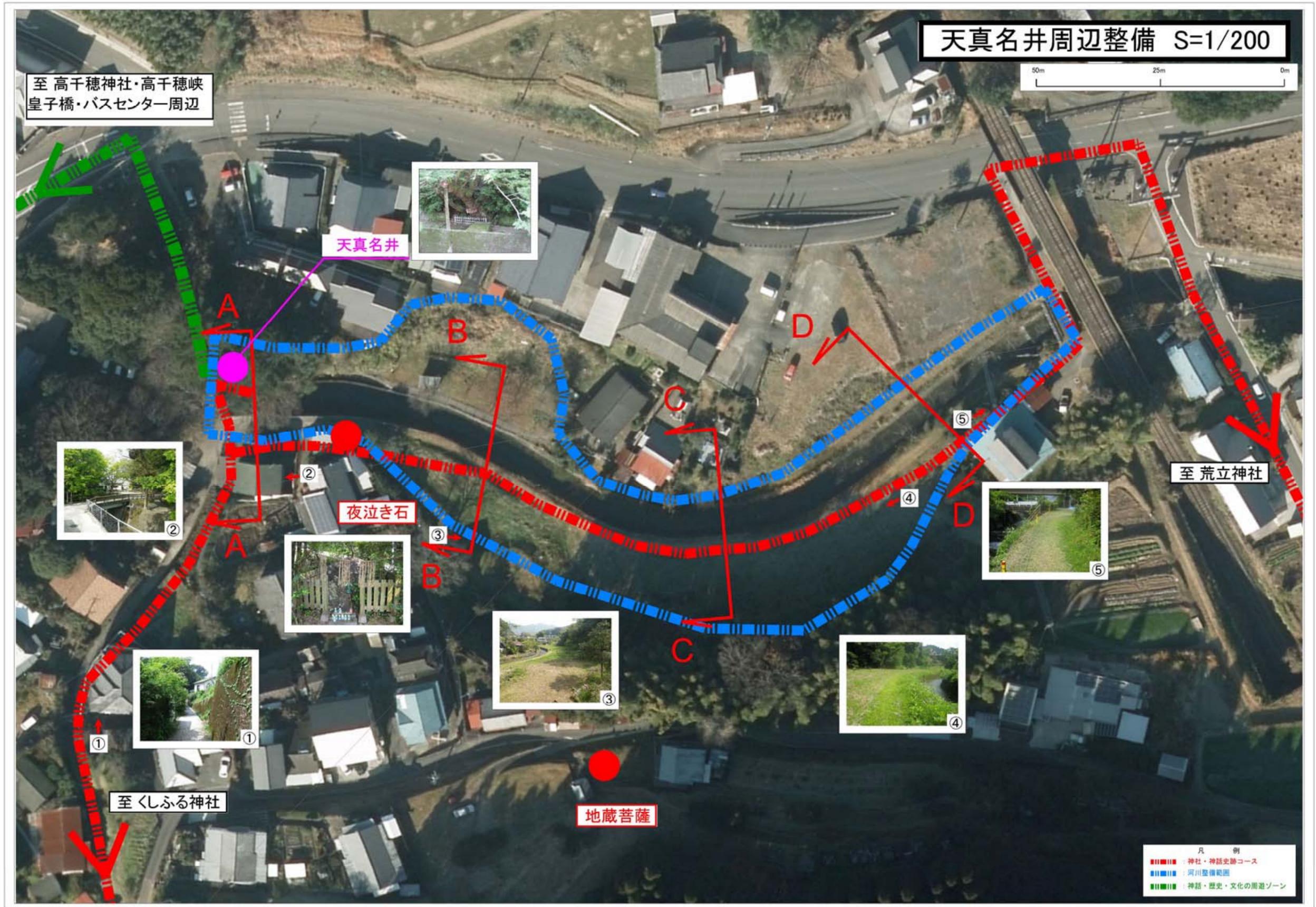
基本理念 2：水循環の復活を実現するかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①神代川の本来の姿への再生	<ul style="list-style-type: none"> ●天真名井前のパラペット撤去、河道拡幅の検討 ●天真名井と神代川が一体的な空間となったかわづくり ●土や岩石等を利用した河底と護岸の整備 ●天真名井と神代川等における水循環の復活 ●水生生物・植物が生息できる河川断面や工法、材料の採用 ●植生による景観形成
②地域活性化に寄与する固有資源のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●くしふる神社周辺の歴史資源と一体となった河川沿いの遊歩道の整備 ●駐車スペースの確保

基本理念 3：地域の人びとの生活・文化と直結し、地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①地域活性化に向けた活動を支援する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●くしふる神社、荒立神社、天真名井などで行われる祭り等に合わせた周辺の歴史資源を巡るウォーキングや親水護岸を活用した高千穂の伝統芸能、食に触れ合えるイベントの開催 ●地域の歴史を紹介する住民ガイドの養成・育成
②機能的な維持管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ●地元住民における既存の河川清掃活動と高千穂町・宮崎県との連携体制の維持・活性化 ●地元住民が主体となったくしふる神社周辺の維持管理体制の構築及び河川清掃活動との一体化 ●観光客を巻き込んだ既存清掃活動の観光イベント化

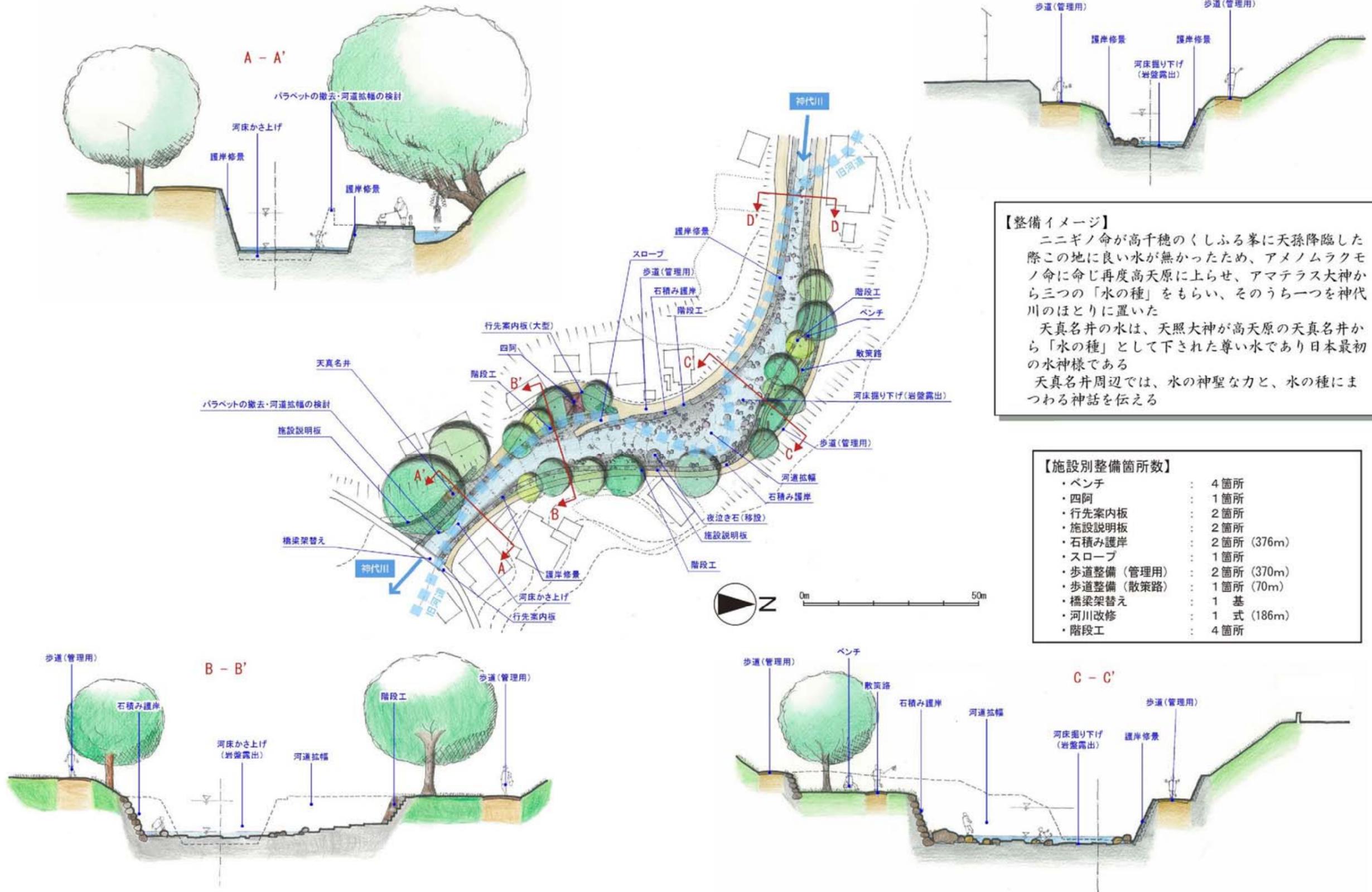
〔記入例〕

○天真名井周辺・神々のゾーン	
平成26年7月24日	
メンバー(代表者の方に○印を付けてください。)	
<p>■整備計画全体に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事にも参加したい ・早くこうなればいい ・ゴミ拾い等、維持管理に積極的に関わりたい ・ ・ ・ 	
<p>■対象地の整備イメージについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージ通り（イメージとちょっと違う） ・もっと自然素材を利用すべき ・ ・ ・ ・ 	
<p>■対象地の印象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元ではよく利用するが、観光客は少ない ・ゴミが多い ・案内が少ない ・道が悪い ・ ・ 	
<p>■WSで出た話し合った整備の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるような場所としたい ・自然いっぱいになりたい ・広場がほしい ・観光客に来てほしい ・ ・ 	
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 	

■天真名井周辺整備



■天真名井周辺の整備イメージ



【整備イメージ】
 ニニギノ命が高千穂のくしふる峯に天孫降臨した際この地に良い水が無かったため、アメノムラクモノ命に命じ再度高天原に上らせ、アマテラス大神から三つの「水の種」をもらい、そのうち一つを神代川のほとりに置いた
 天真名井の水は、天照大神が高天原の天真名井から「水の種」として下された尊い水であり日本最初の水神様である
 天真名井周辺では、水の神聖な力と、水の種にまつわる神話を伝える

【施設別整備箇所数】

・ベンチ	: 4箇所
・四阿	: 1箇所
・行先案内板	: 2箇所
・施設説明板	: 2箇所
・石積み護岸	: 2箇所 (376m)
・スロープ	: 1箇所
・歩道整備 (管理用)	: 2箇所 (370m)
・歩道整備 (散策路)	: 1箇所 (70m)
・橋梁架替え	: 1基
・河川改修	: 1式 (186m)
・階段工	: 4箇所

3.4 具体的な整備内容

「1. 天真名井周辺・神々のゾーン」及び「3. 神話・歴史・文化の周遊ゾーン」

当ゾーンでは、天真名井周辺の自然を再生させ、くしふる神社や荒立神社、四皇子ヶ峰といった歴史資源と結びつけることで、自然と歴史資源が一体化したかわまちづくり計画を行う。

・整備方針と具体的な内容

基本理念 1：高千穂地域のもつ神話・歴史という文化資源を生かしたかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①固有の歴史背景を物語として伝えるしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●夜泣き石の河川内への復元 ●くしふる神社周辺の歴史資源を含めた案内板の設置 ●高天原遥拝所からの眺望確保（立木の伐採）
②全ての人々が利用しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿い敷地を取り込んだ休息機能の設置 ●子供や女性、高齢者でも歩きやすい舗装の導入 ●散策路や休憩施設の整備（手すり等の設置、歩きやすい舗装への再整備） ●誰にでも理解できる案内板の設置（小学生にでも理解できる内容、音声ガイド、多言語化、デザインの統一化）

基本理念 2：水循環の復活を実現するかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①神代川の本来の姿への再生	<ul style="list-style-type: none"> ●天真名井前のパラペット撤去、河道拡幅の検討 ●天真名井と神代川が一体的な空間となったかわづくり ●土や岩石等を利用した河底と護岸の整備 ●天真名井と神代川等における水循環の復活 ●水生生物・植物が生息できる河川断面や工法、材料の採用 ●植生による景観形成
②地域活性化に寄与する固有資源のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●くしふる神社周辺の歴史資源と一体となった河川沿いの遊歩道の整備 ●駐車スペースの確保

基本理念 3：地域の人びとの生活・文化と直結し、地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①地域活性化に向けた活動を支援する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●くしふる神社、荒立神社、天真名井などで行われる祭り等に合わせた周辺の歴史資源を巡るウォーキングや親水護岸を活用した高千穂の伝統芸能、食に触れ合えるイベントの開催 ●地域の歴史を紹介する住民ガイドの養成・育成
②機能的な維持管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ●地元住民における既存の河川清掃活動と高千穂町・宮崎県との連携体制の維持・活性化 ●地元住民が主体となったくしふる神社周辺の維持管理体制の構築及び河川清掃活動との一体化 ●観光客を巻き込んだ既存清掃活動の観光イベント化

〔記入例〕

○天真名井周辺整備	
平成26年7月24日	
メンバー(代表者の方に○印を付けてください。)	
■整備計画全体に関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・工事にも参加したい ・早くこうなればいい ・ゴミ拾い等、維持管理に積極的に関わりたい ・ ・ ・ 	
■対象地の整備イメージについて	
<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ通り（イメージとちょっと違う） ・もっと自然素材を利用すべき ・ ・ ・ ・ 	
■対象地の印象について	
<ul style="list-style-type: none"> ・地元ではよく利用するが、観光客は少ない ・ゴミが多い ・案内が少ない ・道が悪い ・ ・ 	
■WSで出た話し合った整備の方向性について	
<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるような場所としたい ・自然いっぱいになりたい ・広場がほしい ・観光客に来てほしい ・ ・ 	
■その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 	

「2. 皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」及び「3. 神話・歴史・文化の周遊ゾーン」

当ゾーンでは、皇子橋周辺の親水空間として整備と、高千穂町の交通拠点であるバスセンターや観光案内所の整備を実施し、地元住民だけでなくバスセンターや観光案内所を訪れる観光客が自然と触れあえるかわまちづくりを行う。また、ゾーン間や町内に点在する他の観光資源との周遊を可能とするかわまちづくりを行う。

・整備方針と具体的な内容

基本理念 1：高千穂地域のもつ神話・歴史という文化資源を生かしたかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①固有の歴史背景を物語として伝えるしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●高千穂町の歴史・文化資源の背景、それぞれの関連性を分かりやすく説明した案内板の整備、パンフレットの作成
②全ての人々が利用しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿い敷地を取り込んだ親水空間への四阿、ベンチなどの休息機能の設置 ●子供や女性、高齢者でも歩きやすい舗装の導入 ●全ての人々が利用しやすい散策路の整備（手すり等の設置） ●まちなか案内所、がまだせ市場の観光拠点化（地域特産物の販売、案内ガイドの配置、高千穂町の歴史・文化、観光施設等の情報発信）

基本理念 2：水循環の復活を実現するかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①神代川の本来の姿への再生	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿いの敷地を取り込んだ親水空間の整備 ●土や岩石等を利用した河底と護岸の整備 ●瀬や淵の自然な形成を促す蛇行した低水路の整備 ●水生生物・植物が生息できるような河川断面や工法、材料の採用 ●植生による景観形成
②地域活性化に寄与する固有資源のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●ゾーン間の連携軸（高千穂から中心市街地を経て、天真名井・くしふる神社に至る通り）における、歴史的情景・風情を感じさせる車道・歩行者空間の整備、案内板・誘導サインの設置

基本理念 3：地域の人びとの生活・文化と直結し、地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①地域活性化に向けた活動を支援する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなか案内所（歴女案内所）を活用し観光協会や史跡ガイドツアーが中心となったボランティアガイドの拡充及び回廊史跡めぐりのツアーの開催。 ●観光拠点としての駐車場の確保 ●地元が中心となった、神代川の河川敷における茶屋等の設置。
②機能的な維持管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ●地元住民における既存の河川清掃活動と宮崎県・高千穂町との連携体制の維持・活性化 ●観光客を巻き込んだ既存清掃活動の観光イベント化

〔記入例〕

○皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン	
平成26年7月24日	
メンバー(代表者の方に○印を付けてください。)	
<p>■整備計画全体に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事にも参加したい ・早くこうなればいい ・ゴミ拾い等、維持管理に積極的に関わりたい ・ ・ ・ 	
<p>■対象地の整備イメージについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージ通り（イメージとちょっと違う） ・もっと自然素材を利用すべき ・ ・ ・ ・ 	
<p>■対象地の印象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元ではよく利用するが、観光客は少ない ・ゴミが多い ・案内が少ない ・道が悪い ・ ・ 	
<p>■WSで出た話し合った整備の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるような場所としたい ・自然いっぱいになりたい ・広場がほしい ・観光客に来てほしい ・ ・ 	
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 	

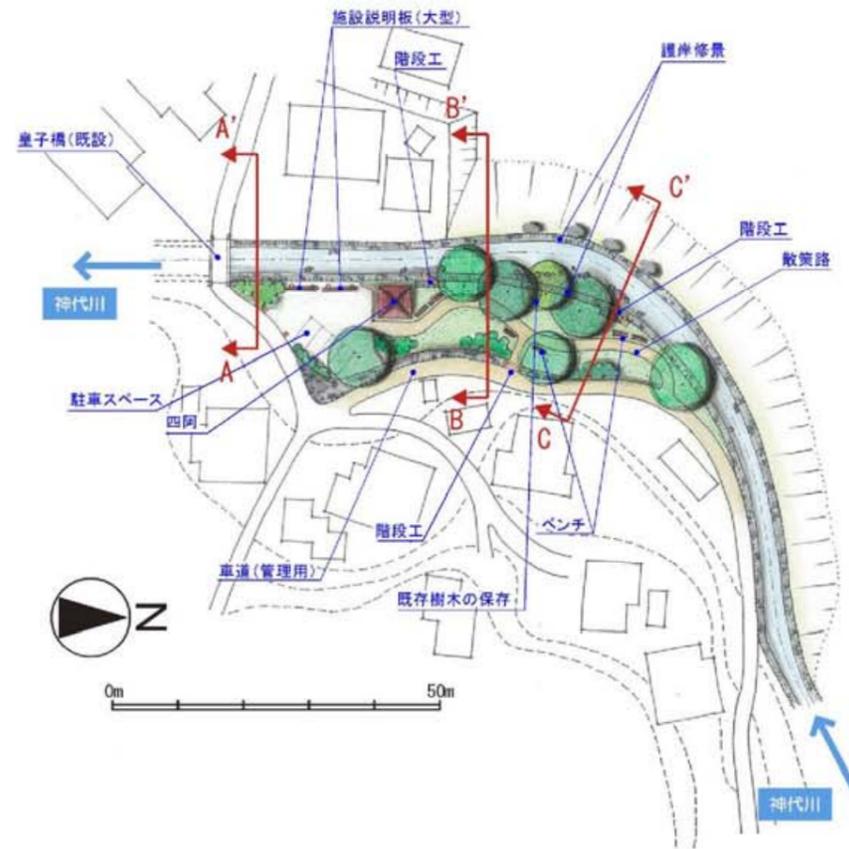
■皇子橋周辺の整備イメージ

【整備イメージ】

天孫降臨したニニギノ命から、ホオリノ命、ウガヤフキアエズノ命までを日向三代という。

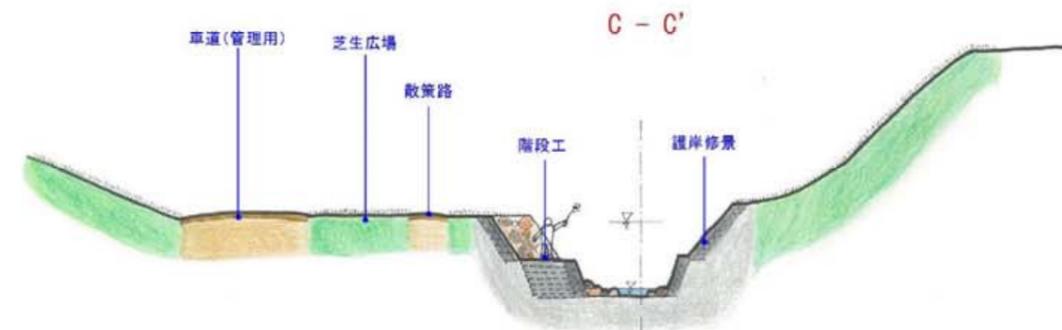
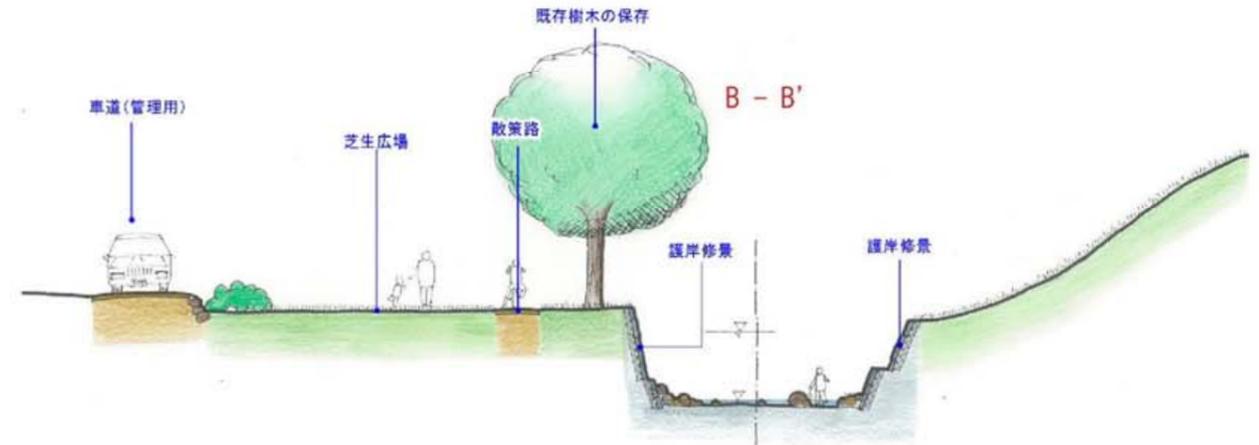
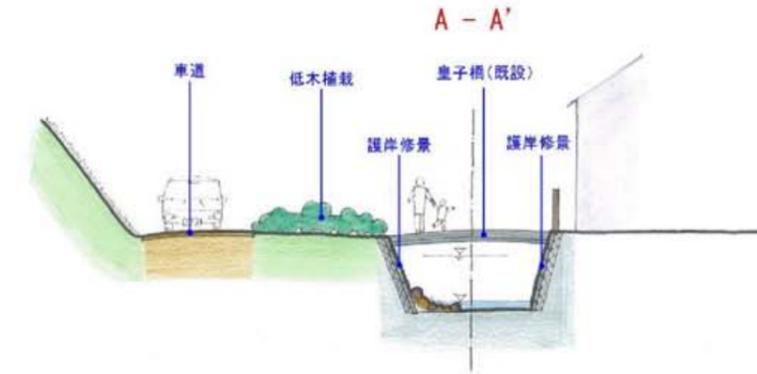
ウガヤフキアエズノ命とタマヨリビメからは4人の御子（四皇子）が生まれ、日向国の高千穂で暮らす。四皇子は天下を治めるために東征に旅立ち、後に四皇子の一人、イハレビコノ命が初代・神武天皇となる。

皇子橋周辺では、四皇子がこの地に暮らし神武東征に向かうまでの神話等を伝える



【施設別整備箇所数】

・ベンチ	: 6箇所
・四阿	: 1箇所
・施設説明板	: 1箇所
・階段工	: 1箇所
・石積み擁壁	: 1箇所 (40m)
・駐車スペース	: 1箇所 (130㎡)
・歩道整備 (散策路)	: 1箇所 (70m)
・車道整備 (管理用)	: 1箇所 (70m)
・河川改修	: 1式 (135m)
・階段工	: 2箇所



「2. 皇子橋周辺・水辺いこいのゾーン」及び「3. 神話・歴史・文化の周遊ゾーン」

当ゾーンでは、皇子橋周辺の親水空間として整備と、高千穂町の交通拠点であるバスセンターや観光案内所の整備を実施し、地元住民だけでなくバスセンターや観光案内所を訪れる観光客が自然と触れあえるかわまちづくりを行う。また、ゾーン間や町内に点在する他の観光資源との周遊を可能とするかわまちづくりを行う。

・整備方針と具体的な内容

基本理念 1：高千穂地域のもつ神話・歴史という文化資源を生かしたかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①固有の歴史背景を物語として伝えるしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●高千穂町の歴史・文化資源の背景、それぞれの関連性を分かりやすく説明した案内板の整備、パンフレットの作成
②全ての人々が利用しやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿い敷地を取り込んだ親水空間への四阿、ベンチなどの休息機能の設置 ●子供や女性、高齢者でも歩きやすい舗装の導入 ●全ての人々が利用しやすい散策路の整備（手すり等の設置） ●まちなか案内所、がまだせ市場の観光拠点化（地域特産物の販売、案内ガイドの配置、高千穂町の歴史・文化、観光施設等の情報発信）

基本理念 2：水循環の復活を実現するかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①神代川の本来の姿への再生	<ul style="list-style-type: none"> ●川沿いの敷地を取り込んだ親水空間の整備 ●土や岩石等を利用した河底と護岸の整備 ●瀬や淵の自然な形成を促す蛇行した低水路の整備 ●水生生物・植物が生息できるような河川断面や工法、材料の採用 ●植生による景観形成
②地域活性化に寄与する固有資源のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ●ゾーン間の連携軸（高千穂から中心市街地を経て、天真名井・くしふる神社に至る通り）における、歴史的情景・風情を感じさせる車道・歩行者空間の整備、案内板・誘導サインの設置

基本理念 3：地域の人びとの生活・文化と直結し、地域の賑わいを復活するためのかわまちづくり	
整備方針	具体的な内容
①地域活性化に向けた活動を支援する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなか案内所（歴女案内所）を活用し観光協会や史跡ガイドツアーが中心となったボランティアガイドの拡充及び回廊史跡めぐりのツアーの開催。 ●観光拠点としての駐車場の確保 ●地元が中心となった、神代川の河川敷における茶屋等の設置。
②機能的な維持管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ●地元住民における既存の河川清掃活動と宮崎県・高千穂町との連携体制の維持・活性化 ●観光客を巻き込んだ既存清掃活動の観光イベント化

〔記入例〕

○皇子橋周辺整備	
平成26年7月24日	
メンバー(代表者の方に○印を付けてください。)	
<p>■整備計画全体に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事にも参加したい ・早くこうなればいい ・ゴミ拾い等、維持管理に積極的に関わりたい ・ ・ ・ 	
<p>■対象地の整備イメージについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージ通り（イメージとちょっと違う） ・もっと自然素材を利用すべき ・ ・ ・ ・ 	
<p>■対象地の印象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元ではよく利用するが、観光客は少ない ・ゴミが多い ・案内が少ない ・道が悪い ・ ・ 	
<p>■WSで出た話し合った整備の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が集まるような場所としたい ・自然いっぱいになりたい ・広場がほしい ・観光客に来てほしい ・ ・ 	
<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ 	

■その他

神代川かわまちづくり推進協議会（ワークショップ）のネーミング

- 【 候 補 】**
- ① 神都高千穂 神代川かわまちやっちゃろう会
 - ② 神代川かわまちづくりやおよろづのかみ八百万神の会
 - ③ 八百万の神々がかわまちづくりを語る会
 - ④ 神代かみよから賜いし水と心の再生を語る会
 - ⑤ 記紀神話の源流 神代川かわまち語ろう会
 - ⑥ 神代川 水の再生と歴史・文化の継承を紡ぐ会

年間の予定

